

はじめに

多摩森林科学園のサクラ保存林には、伝統的な栽培品種および各地の名木などのクローンが約600ライン収集され、総数約1500本のサクラが植栽されています。このパンフレットでは、それらのうち東北および北関東に由来するサクラに焦点をあてて紹介しています。2011年3月の東日本大震災では大きな被害を受けましたが、各地で復興への歩みが始まっています。美しい桜に思いを馳せて、復興の一助として東北地方へ春の桜旅を計画してみられてはいかがでしょうか。

多摩森林科学園長
吉丸 博志

多摩森林科学園における サクラ保存の取り組み

科学園のサクラ保存林は、農林省の桜対策事業の一環として、公害や老化によって衰退するサクラを保存することを目的に1966年度に設置されました。以後、古くからの栽培品種や各地の名木などさまざまな桜が導入され、保存・研究が行われてきました。

桜の保存は、接木や挿し木といった方法で行われます。原木から芽や枝を採取し、他の木の根株に接いだり（接木）、枝から根を出させる（挿し木）ことで個体を増殖する方法で、原木と同じ遺伝子を持つ個体（クローン）の増殖を行います。サクラ保存林は、こうした接木で増殖したサクラを後世まで伝えることが目的です。したがって、どのような原木から増殖したのか、その由来がきわめて重要です。このパンフレットや保存林の表示板には、原木の名称（現地名）を表示しています。なお、参考情報として、生物の基本単位である種名や栽培品種名、導入元などについても表示しています。



桜めぐりマップ

サクラ保存林で見る

東北・北関東の桜



独立行政法人 森林総合研究所
多摩森林科学園

〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81
電話:042-661-0200

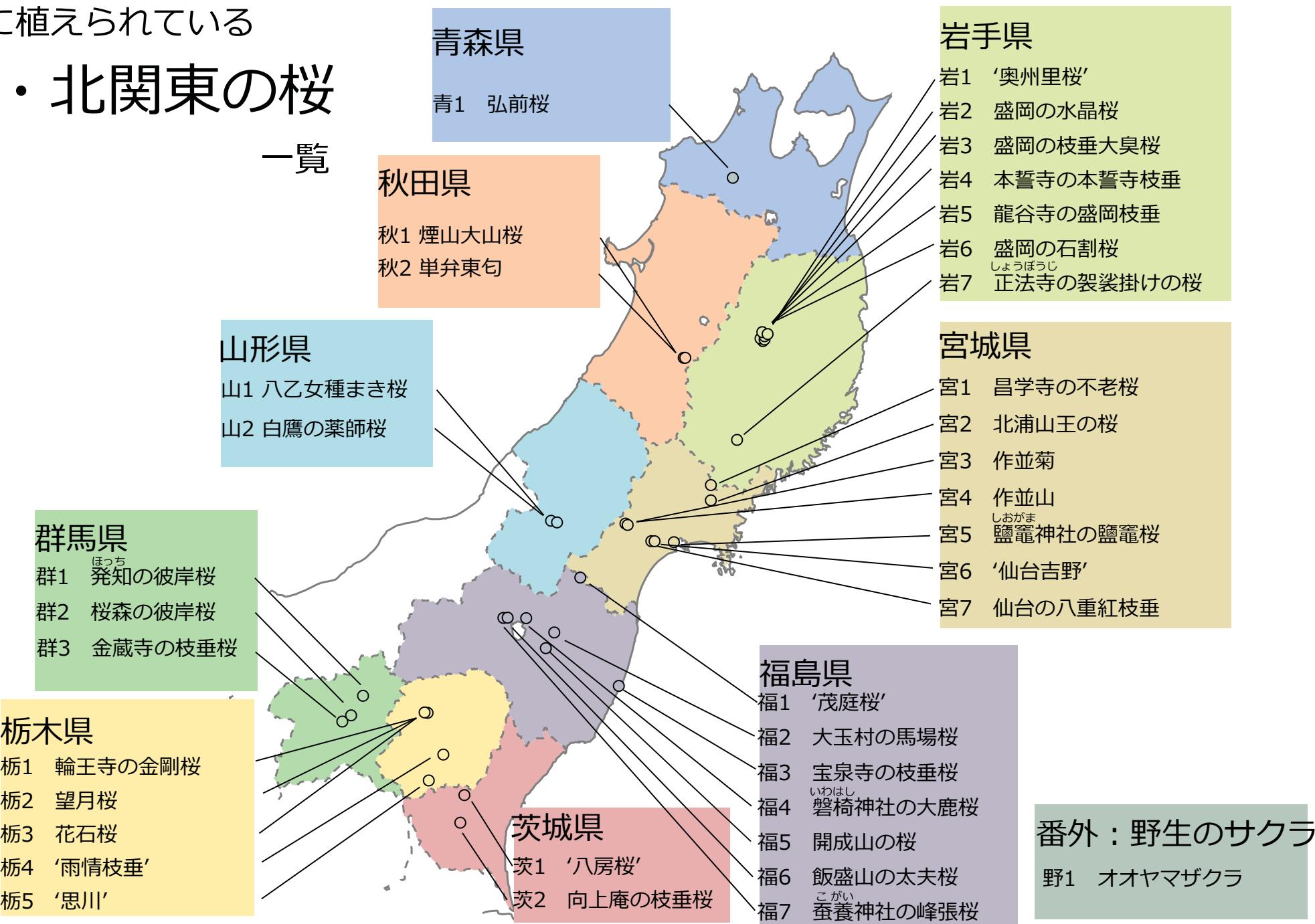
<http://www.ffpri-tm.kaffrc.go.jp>
e-mail: kouhotama@ffpri.kaffrc.go.jp

製作：多摩森林科学園 岩本宏二郎
勝木 俊雄

発行：2012年3月 5日
2013年1月17日 修正

宝泉寺の枝垂桜(福島県)クローン株

科学園に植えられている 東北・北関東の桜 一覧



角字説

地図番号:①現地名②種名③栽培品種名（栽培品種として確立した名称がつけられていないものは無記入）④導入元⑤その他
文中の敬称は略させていただきました。

青1:①弘前桜②サトザクラ③‘普賢象’④弘前公園 青森県弘前市⑤‘普賢象’は室町時代からあるともいわれる栽培品種。弘前城では、江戸時代からサトザクラの植栽が行われていた。

岩1:①‘奥州里桜’②サトザクラ③‘奥州里桜’④菊池政雄 岩手県盛岡市⑤市内とこどろくに植栽されている。原敬記念館の「戴き桜」もこの栽培品種と考えられる。

岩2:①盛岡の水晶桜②サトザクラ③‘塩釜’④国立遺伝学研究所 静岡県三島市⑤岩手県盛岡市内の個人宅にあるものを1920年三好学が名づけたと伝えられる。

岩3:①盛岡の枝垂大奥桜②オオシマザクラ×エドヒガン④岩手県盛岡市⑤原木は今は無い。‘盛岡枝垂’の実生から生じたものと伝えられている。

岩4:①本誓寺の本誓寺枝垂②オオシマザクラ×エドヒガン④本誓寺 岩手県盛岡市⑤市天然記念物。枝垂大奥桜とよく似ている。

岩5:①龍谷寺の盛岡枝垂②オオシマザ克拉×エドヒガン③‘盛岡枝垂’④龍谷寺 岩手県盛岡市⑤国天然記念物。‘枝垂桜’と‘染井吉野’のが交雑したものと推定されている。

岩6:①盛岡の石割桜②エドヒガン④岩手県盛岡市⑤盛岡地方裁判所の前庭にある。花崗岩の隙間に生える奇異な姿から大正12年に天然記念物に指定された。

岩7:①正法寺の袈裟掛けの桜②エドヒガン④岩手県奥州市水沢区⑤南北朝時代、正法寺開山の折、無底良韶禅師が脱いだ袈裟を掛けたと伝えられるサクラ

秋1:①煙山大山桜②サトザクラ④秋田県仙北郡美里町⑤秋田の園芸家 煙山薰朗により育成されたサクラ。オオヤマザクラとサトザクラが交雑したものと考えられる。

秋2:①单弁東匂②サトザクラ④秋田県仙北郡美里町⑤秋田の園芸家 煙山薰朗により育成されたサクラ。上記と同じくオオヤマザ克拉とサトザ克拉が交雑したものと考えられる。

山1:①八乙女種まき桜②エドヒガン④八乙女八幡宮 山形県西置賜郡白鷹町⑤町天然記念物。樹齢約500年ともいわれる。白鷹町は7本の桜古木があることで知られる。

山2:①白鷹の薬師桜②エドヒガン④薬師堂 山形県西置賜郡白鷹町⑤県天然記念物。坂上田村麻呂が手植えしたとの伝説が残るエドヒガンの古木。

宮1:①昌学寺の不老桜②エドヒガン③‘枝垂桜’④昌学寺 宮城県登米市石越町⑤市天然記念物。古くから地域のシンボルとして親しまれている。樹齢は400年ともいわれる。

宮2:①北浦山王の桜②エドヒガン④山王権現 宮城県登米市迫町⑤市天然記念物 根元周囲8mを超えるエドヒガンの古木。

宮3:①作並菊②サトザクラ③‘泰山府君’④久保武茂 大阪府伊丹市⑤京都の桜守 佐野藤右衛門が昭和30年頃に宮城県仙台市青葉区作並で見つけ、増殖して広めたとされる。

宮4:①作並山②カスミザクラ④佐野園 京都府京都市⑤上記作並菊と同時期に佐野藤右衛門が見つけ、増殖して広めたとされる。

宮5:①鹽竈神社の鹽竈桜②サトザ克拉③‘塩釜’④若名東一 千葉県⑤国天然記念物。宮城県塩竈市の鹽竈（塩釜）神社に原木があった。江戸初期から知られ、古くから栽培されていた。

宮6:①‘仙台吉野’②オオシマザ克拉×エドヒガン③‘仙台吉野’④船津金松 東京都足立区⑤仙台市の宮城県師範学校校庭にて坂庭清一郎が作出 ‘八重紅枝垂’と‘染井吉野’を交配したもの。

宮7:①仙台の八重紅枝垂②エドヒガン③‘八重紅枝垂’④佐野園 京都府京都市⑤京都や仙台に多く植えられている。明治時代、仙台市長であった遠藤庸治が仙台市内に植えた。

福1:①‘茂庭桜’②サクラ③‘茂庭桜’④福島県福島市飯坂町茂庭⑤福島県福島市飯坂町茂庭にて今野礼三が発見。チョウジザクラと‘染井吉野’が交雑したものと推定されている。

福2:①大玉村の馬場桜②エドヒガン④福島県安達郡大玉村⑤源義家がこの地を馬場としたという伝説がある。幹周囲7メートルを超える巨樹として国天然記念物に指定された。

福3:①宝泉寺の枝垂桜②エドヒガン③‘枝垂桜’④宝泉寺 福島県双葉郡富岡町⑤町天然記念物。康和元年（1099年）宝泉寺開山の頃植えられたと伝えられている。

福4:①磐椅神社の大鹿桜②サトザ克拉③‘塩釜’④磐椅神社 福島県耶麻郡猪苗代町⑤町天然記念物。会津五桜のひとつとして知られる。

福5:①開成山の桜②オオシマザ克拉×エドヒガン③‘染井吉野’④福島県郡山市⑤明治初期の安積開拓の折に開成沼周辺に約4000本の桜が植えられたのがはじまり。

福6:①飯盛山の太夫桜②エドヒガン④福島県会津若松市⑤市天然記念物 斎宮太夫という遊女の斬殺と弟のあだ討ちの伝説が残る。

福7:①蚕養神社の峰張桜②エドヒガン④蚕養国神社 福島県会津若松市⑤市天然記念物。寛弘7年（1011年）社殿造営の際に植えられたともいわれ、御神木として祀られている。

茨1:①‘八房桜’②サトザ克拉③‘八房桜’④安行見本園 埼玉県川口市⑤雨引山楽法寺（雨引観音 茨城県桜川市）にて三好学が名づけたと伝えられている。

茨2:①向上庵の枝垂桜②ヤマザ克拉×エドヒガン④向上庵 茨城県土浦市小野⑤県天然記念物。栽培品種としての‘枝垂桜’とは花の形態が異なる。

栢1:①輪王寺の金剛桜②サトザ克拉④輪王寺 栃木県日光市⑤国天然記念物。輪王寺境内三仏堂前にある。現地では山桜とよばれるがサトザ克拉に分類される。

栢2:①望月桜②ヤマザ克拉×エドヒガン④日光植物園 栃木県日光市⑤原木は栃木県今市市の丘陵地より日光植物園に移植された。

栢3:①花石桜②ニッコウザ克拉（チョウジザ克拉×カスミザ克拉）④日光植物園 栃木県日光市⑤ニッコウザ克拉のひとつ。

栢4:①‘雨情枝垂’②エドヒガン③‘雨情枝垂’④日本花の会 茨城県結城市⑤栃木県宇都宮市鶴田町の野口雨情邸に栽培されていたと伝えられている。

栢5:①‘思川’②マメザ克拉×エドヒガン③‘思川’④日本花の会 茨城県結城市⑤栃木県小山市の修道院に植えられていた十月桜の実生から久保田秀夫が育成した。

群1:①発知の彼岸桜②エドヒガン ④群馬県沼田市中発知町⑤県天然記念物。田園地帯を見渡す丘陵上にある。苗代作りの時期に開花することから発知の苗代桜とも呼ばれる。

群2:①桜森の彼岸桜②エドヒガン ④津久田八幡宮 群馬県渋川市赤城町⑤県天然記念物。八幡宮境内はかつて花見の名所で‘桜森’とよばれた。この桜は神社入口に残る老木。

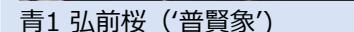
群3:①金蔵寺の枝垂桜②エドヒガン④金蔵寺 群馬県渋川市⑤県天然記念物。里芋の種を植え付ける時期に咲くことから‘いも種ザ克拉’と呼ばれる。

野1:②オオヤマザ克拉④浅川実験林 東京都八王子市⑤北海道・東北地方に広く分布しこの地方を代表する野生のサクラ



東北・北関東のサクラ

植栽箇所案内図 サクラ保存林



岩5 龍谷寺の盛岡枝垂



宮3 作並菊 ('泰山府君')



福7 蚕養神社の峰張桜 (エドヒガン)



茨2 向上庵の枝垂桜



This map illustrates the walking routes around the Kōtoku-in area, featuring several paths and numbered points of interest. The paths are color-coded: brown, blue, and grey. Numbered points are marked with colored circles (red, green, blue, yellow) and labeled with names such as '野1', '秋2', '秋1', '福3', '群2', '群1', '茨2', '宮1', '宮2', '宮3', '宮6', '宮7', '福5', '岩1', '岩2', '岩3', '岩4', '岩5', '岩6', '山1', '山2', '福2', '福6', '福7', '青1', '茨1', and 'トール'. A note indicates a one-way path from point 48 to 49. A legend shows a person icon with a dot, a green circle, a blue circle, and a yellow circle. A note at the top left specifies the period from mid-March to early May.



栄1 輪王寺の金剛桜



朽5 '思川



野1 オオヤマザクラ